

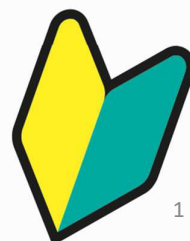
地域イベントなどの
事業費を補助します



地域コミュニティ等支援事業

補助金・交付金

事業の概要から申請方法、
事例までわかりやすく解説



1

地域を盛り上げたい、
もっと魅力的なまちにしたい。
そんな“やってみたい”を
サポートする補助事業です。



地震や台風、コロナを通じて、地域みんなで支え合う
大切さを感じた方も多いのではないのでしょうか？

そして、これからも少子高齢化や暮らしの変化など、地
域にはさまざまな課題があります。

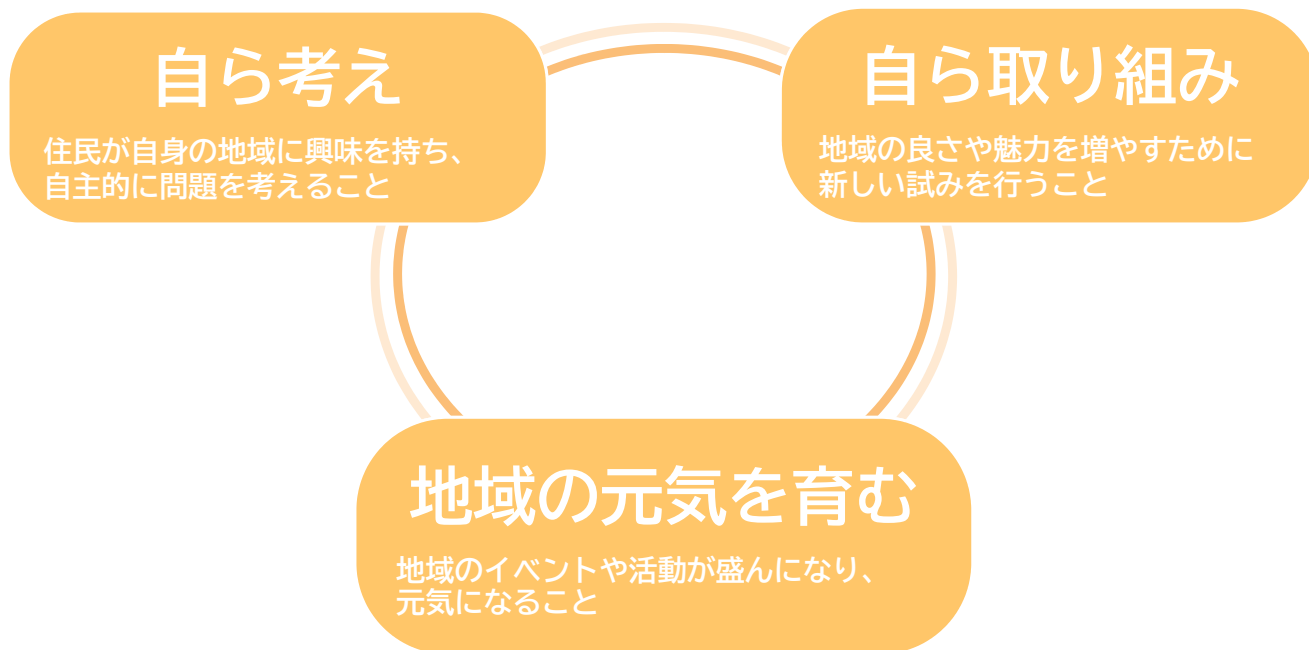
「こんなまちにしたい！」という想いと行動が、地
域を変える大きな力になります。

この事業は、あなたの“やってみたい”を形にするた
めの費用を支援します！地域のイベントや新しい試みを
実現するために、ぜひご活用ください。



2

地域コミュニティ等支援事業ではこのような事業を支援します

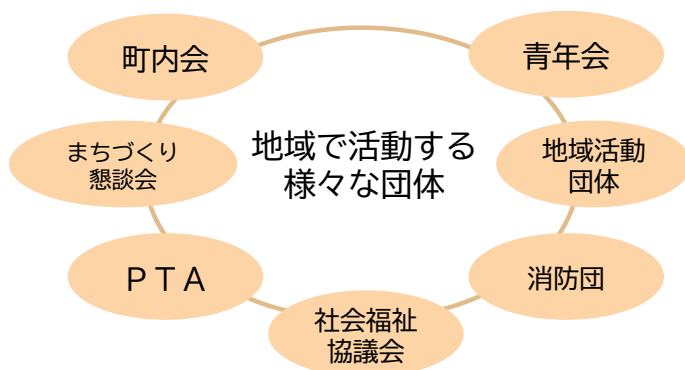


3

事業の内容

対象は地域の皆さんです！

- ・町内会などの住民自治組織
- ・地域内で活動する団体
- ・これから活動したい団体、立ち上げたい団体も可能です。



どうやって決まるの？

地区まちづくり計画推進懇談会※が申請内容を確認し、採用します。

地区まちづくり計画推進懇談会とは

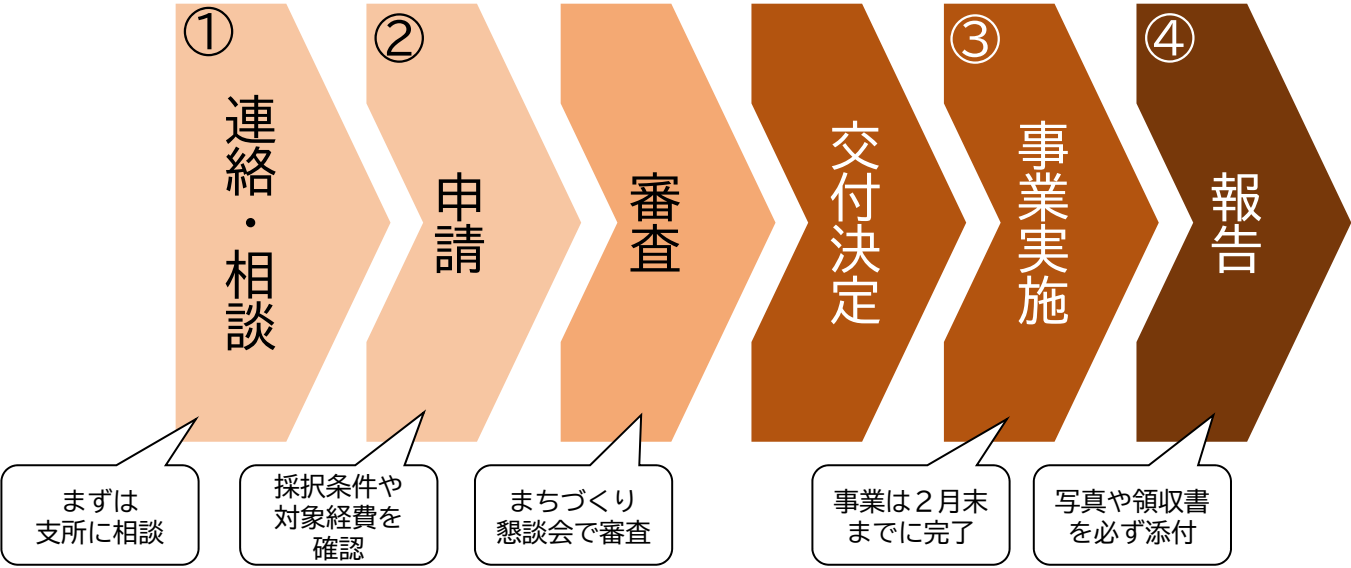
- ①住民同士が話し合い、ふくしま共創のまちづくり計画の推進を図る。
- ②行政を含む多様な業種の住民同士が連携し、まちづくりの機運を高め、地域活動人材の発掘や育成につなげる。

各地区の計画や詳細はコチラ →



4

申請団体が行う手続きは、①・②・③・④です



支援には補助金と交付金の2種類あります。
事業によって使用できる内容が異なります。

◆補助金の場合

『事業計画書』様式Fを提出

◆交付金の場合

『交付金申請書』第1号様式を提出

※補助金か交付金の活用について
どちらを活用するかは、支所の担当者と相談の
うえ決定します。
お近くの支所にお気軽に問い合わせください。

事業例	補助金	交付金	備考
住民間の繋がりと交流づくり			
イベント・企画の実施	○	○	
地域や事業をイメージするビジュアルなどの作成費	△	○	・地域の方と話し合いや主体と共創して制作（中学校と一緒になど）出来れば補助金でも可能。活用例も記載されていると良い ・イベント開催経費の一部なら補助金でも可能
地域住民同士の食事	△	△	弁当など出来合いのものは×。調理を一緒に行うことで交流し、出来たものを一緒に食べる事業は○。
住民同士の飲み会や宴会	×	×	団体等の宴席による飲食費となる
神社の祭り開催経費	×	×	神社や寺、教会の行事に直接関係するものは宗教的活動となる
魅力（文化・歴史）や出来事の発信や継承			
地域の伝統ある小唄の音源制作や披露	○	○	
地域の民話や歴史を集約した冊子の制作	○	○	部数の根拠を記すこと
魅力を発信するチラシや広報物の制作	△	○	・枚数の積算根拠と活用方法を明示すること ・地域の方と話し合いや主体と共創して制作出来れば補助金でも可能 ・イベント開催経費の一部なら補助金でも可能
魅力を地区懇談会のSNSにより発信	△	○	発信のための動画制作は補助金でも可能。運用費用は交付金を活用する
地区の広報誌や防災マップの作成	○	○	部数の根拠を記すこと
地域内の教育と福祉や健康の増進			
住民同士のワークショップや学習会	○	○	
子ども達の地域の企業訪問や体験活動	○	○	学校行事としての活動は×
地域農業体験事業	○	○	
団体が行う交通安全などの街頭啓発活動（反射板や文房具などの配布）	×	○	
綺麗なまちづくり			
不法投棄の収集	△	○	不法投棄の処分費用だけや花の苗を購入するだけではなく、『地域の方が集まって一緒に行う』場合は補助金でも可能
花植え、清掃活動	△	○	

対象になる事業は、以下のことに取り組むソフト事業です

1. 住民間の繋がりと交流づくり
2. 魅力（文化・歴史）や出来事の発信や継承
3. 地域内の教育と福祉や健康の増進
4. 綺麗なまちづくり

7

補助事業の様子



8

1. 住民間の繋がり与交流づくり

- ・ 団体名：富塚町内会（北信地区）
- ・ 事業名：郷土工芸福島だるま絵付け体験教室
- ・ 目的：地域の子供たちが貴重な文化伝統工芸である福島だるまの絵付けを体験することにより、福島郷土の歴史や文化について理解を深めさせるとともに、担い手育成へのきっかけ作りとする。

『地元で作られる福島だるまへの愛着』と『子ども達への良い教材になる』から始まった事業

福島商業高校と関わるきっかけとなり、さらにコラボを生み出した。
地域資源の再発見と活用にも！

※2. 魅力（文化・歴史）や出来事の発信や継承も同時に達成



主な対象経費：材料（絵付け用だるま、ペン）、のぼり旗、講師謝礼 など

9

事業事例解説 ～住民間の繋がり与交流づくり～

住民間の繋がり与交流づくりとは、

主に地域内イベントや企画を開催するもの。

イベントを開催することで地域内での団体活動の紹介など、**PRの機会**になる。

また、世代にあった企画を行うことで、今まで地区活動に関わったことがない方を掘り起こすチャンスにもなる。



何のためにやるのかを明確にしましょう！

- ・ 今まで関わったことがない地域住民との関係、きっかけ作り
- ・ 役員や地域ボランティアの活躍の場
- ・ メディアにPRする機会
- ・ 地域の企業、団体にスポンサーシップを募集する機会



10

2. 魅力（文化・歴史）や出来事の発信や継承

- ・ 団体名：中央東・中央西地区ふくしま共創まちづくり計画推進懇談会
- ・ 事業名：「懐かしの福島～昭和の街角めぐる思い出の旅マップ～」の作成
- ・ 目的：中央東地区と中央西地区の間で、地域住民の交流を深めることを目的に実施したワークショップの中で、東西の歴史や文化交流を通じて学び合うことで、互いを尊重し理解し合いたいとの提案から実施

福島駅の東西の歴史をお互いに知り合って、交流するために実施。子どもの頃のエピソードを交えることで自然と話が盛り上がる！



主な対象経費：・ワークショップ経費（付箋やペン、お茶など）



11

事業事例解説 ～魅力（文化・歴史）や出来事の発信や継承～

魅力（文化・歴史）や出来事の発信や継承とは、

地域内名所や歴史、伝統、文化の発信や記録、保存を行うもの。

残っているうちに情報化することで、途絶えてしまった際に再興することが可能になる。

また、新たに転居してきた方や地域子ども達に『魅力』として伝えることで地域愛の土台となる。



何のために作るのかを明確にしましょう！

- ・ 知らない世代や住民に『見える化』する
- ・ 自分たちの地域の魅力を調べ、再発見する機会
- ・ 地域外へのPRのチャンス
- ・ 作るまでの工程も繋がりを生み出す

みなさんの活動自体も
魅力の一つです！



12

3. 地域内の教育と福祉や健康の増進

- ・ 団体名：西地区ふるさとの歴史再発見事業実行委員会（西地区）
- ・ 事業名：「吾妻山噴火から130年」講演会開催
- ・ 目的：西地区の住民として、ふるさとの歴史・文化・自然に学び先人の生活や文化に想いを馳せるとともに伝統や功績を後世に伝承するために必要な事業を実施し、事業を通じて住民の愛郷心や連帯感を醸成する。

地域の成り立ちや功績を学ぶことで、地域の愛着を向上させるために実施。

今回の研修で防災への意識が向上し、地域の地層の状況など、学術的に知ることが出来た！



主な対象経費：講師謝礼、講師旅費、講師食糧費、チラシ作成費、ペンやインク等

13

事業事例解説 ～地域内の教育と福祉や健康の増進～

地域内の教育と福祉や健康の増進とは、

主に講師を招いた学習会や研修が挙げられる。

地域内の教育は、地域情報やまちづくりに関する学習会により、地域を理解する機会が増え、地域社会の一員として一体感の向上が期待出来る。

福祉や健康は、福祉の需要が高い市民（特に高齢者や障がい者など）への支え合いの意識を促進でき、また地域での健康増進事業は、住民が情報を得やすく、また行動を促す援助が出来るという大きな効果を発揮する。



申請団体のみでなく、広くお知らせし地域全体で学べるものにしましょう！

- ・ 特定のテーマに関心のある地域住民の掘り起こし、仲間集め
- ・ 多様な視点や専門的な視点からの地域の再発見
- ・ 地域全体での意識向上
- ・ 地域の一体感の向上



14

4. 綺麗なまちづくり

- ・団体名：北沢又地区町会連合会（清水地区）
- ・事業名：雪を乗り越え、春を育むプロジェクト事業
- ・目的：降雪期における町内会員の除雪作業は高齢化とともに困難な状況になっている。除雪機の効率的運用により除雪面積の拡大を図って、積雪による転倒事故防止や歩行の確保するため、一斉除雪作業と会員向け研修を行う。
また、花壇等の花の苗を植栽し、早春の香りを楽しんでいただき地域の福利増進に寄与する。

降雪時の通学路の確保のために実施。除雪機の動作研修を町内会同士連携し講習を行うことで、地区間の交流と技術向上に繋がった！

主な対象経費：軽トラ借上料、ボランティア報償費、消耗品（長靴や手袋）、花苗



15

事業事例解説 ～綺麗なまちづくり～

綺麗なまちづくりとは、

花植えなどは、地域の住民や子どもでも一緒に取り組むことが出来る事業です。

また、環境の課題は、地域住民も把握しやすく、共通の課題としてわかりやすく伝わりやすい。

きれいな街は、その景観が地域の魅力を向上させ、花壇や公園などの綺麗な公共空間は、住民だけでなく観光客にも好印象を与えます。



16

対象にならない事業費

✕ 神事(神輿や山車・提灯の修理)や宗教行事に直接関係する費用

(祭りの際に開催する子どもイベントなどは対象)

✕ 団体の会員同士の親睦のための費用

(宴会や研修旅行、レクリエーション行事などは対象にならない)

✕ 施設の修繕や整備費

(集会所や町会看板の修繕などは対象にならない)

✕ 政治活動・署名・募金活動

17

まちづくりのポイント

その1 ✕ やった方がいい、やるべきだ
 ◎ やってみる

やった方がいいと思っていることは、
いつまでも起こりません。
自分が気付いたことは、自分にしか出来ないものです。

「小さくてもやれることから」やってみましょう！

18

その2 地域の魅力を大人から子どもに伝える

子ども達の地域への愛着は大人たちの言葉や行動から教わる。地域に育ててもらったと感じる今の大人も多いはず。

「なにも無い」と伝えたら本当に何も無くなってしまう。

19

その3 課題解決から入らない

『楽しみながら！嬉しい！疲れさえも心地よい。』
これがまちづくりの真髄。

課題解決は後からきつとついてくる。

20

番外編 地域づくりには △ 巻き込む ◎ 誘い合わせる

◆「巻き込む」は“△”

親密な関係ではOKだが、そうじゃない場合は「貰い事故」にも

◆「一緒にやろう！」から始める

誘いこむ時のワクワク感で「夢中」にさせる

◆目指すは「誘い合わせる」

メンバーが友達を誘いたくなるものが『BEST』

再掲) 補助金と交付金の活用事例

事業例	補助金	交付金	備考
住民間の繋がり与交流づくり			
イベント・企画の実施	○	○	
地域や事業をイメージするビジュアルなどの作成費	△	○	・ 地域の方と話し合いや主体と共創して制作（中学校と一緒になど）出来れば補助金でも可能。活用例も記載されていると良い ・ イベント開催経費の一部なら補助金でも可能
地域住民同士の食事	△	△	弁当など出来合いのものは×。調理を一緒に行うことで交流し、出来たものを一緒に食べる事業は○。
住民同士の飲み会や宴会	×	×	団体等の宴席による飲食費となる
神社の祭り開催経費	×	×	神社や寺、教会の行事に直接関係するものは宗教的活動となる
魅力（文化・歴史）や出来事の発信や継承			
地域の伝統ある小唄の音源制作や披露	○	○	
地域の民話や歴史を集約した冊子の制作	○	○	部数の根拠を記すこと
魅力を発信するチラシや広報物の制作	△	○	・ 枚数の積算根拠と活用方法を明示すること ・ 地域の方と話し合いや主体と共創して制作出来れば補助金でも可能 ・ イベント開催経費の一部なら補助金でも可能
魅力を地区懇談会のSNSにより発信	△	○	発信のための動画制作は補助金でも可能。運用費用は交付金を活用する
地区の広報誌や防災マップの作成	○	○	部数の根拠を記すこと
地域内の教育と福祉や健康の増進			
住民同士のワークショップや学習会	○	○	
子ども達の地域の企業訪問や体験活動	○	○	学校行事としての活動は×
地域農業体験事業	○	○	
団体が行う交通安全などの街頭啓発活動（反射板や文房具などの配布）	×	○	
綺麗なまちづくり			
不法投棄の収集	△	○	不法投棄の処分費用だけや花の苗を購入するだけではなく、『地域の方が集まって一緒に行う』場合は補助金でも可能
花植え、清掃活動	△	○	